

税について

大阪市立瑞光中学校 3年 蓮池 咲桜

日本では、現在 47 都道府県すべてで、医療費助成が行われています。それは、私たち国民が払う税金の一部で賄われています。私の住んでいる大阪市では、平成 29 年に対象年齢が 15 歳から 18 歳まで引き上げられ現在、18 歳までの市民が保険証を出せばけがや、病気になった時、最大 500 円までの支払いで済み、後の費用は市が負担してくれるというものです。

それは、大阪市が約 90 億もの費用を福祉・健康医療費としてあててくださったおかげです。

正月に私の祖母が倒れました。その時は、夜だったのですが 10 分もしないうちに救急車と、救急隊の方が来てくださり、処置をしてくださいました。頭を強く打っていたので、心配だったのですが、すぐ、処置をしてくださったおかげか、今はとても元気です。本当に感謝しています。外国では、救急車を要請した場合や、診察した場合などに高額なお金を請求されるそうです。これに比べ日本は移動距離に関わらず無料で利用できるのは良いサービスだと思います。こうして見ると、日本の医療サービスは、世界の中でも、とても親切で優れていると思います。

そして、「税金があってよかった。」と思ったのは、今年流行しているコロナについてです。政府は税金でマスクを作ったり、給付金を配っていただきました。また、コロナにより売上が前年同比 50%以上減少している個人事業主や法人に対しては 100 万円、法人には 200 万円を給付するという支援対策や、失業者に対する給付金などと、税金で私たちの生活を守り、命を守る税金の正しい使い方をしてくださったと思います。そして大阪市では、学校給食が一年間無償化となります。こうした政策で、たくさんの家が助かったと思います。

こうして、いろんな方法でこの不況の中助けてもらっているので将来、私たちがたくさん働いて、コロナで出来た借金を返すお手伝いができたらなと思います。

日本にはいろんな所に税金がありますが、その税金を払うことで、こうした急な出来事に対処できるので、税金は大切だと言うことが分かりました。もし税金がなかったら、私たちは安心して医療を利用できず、私たちが普段利用してきたものや場所が当たり前のように使えなくなり生活がしづらいでしょう。

こうして考えると、私たちは普段の生活から税金に助けられ支えてもらっていたんだと知りました。もちろんそれは、たくさんの人が働いて、税を納めてくださったおかげなので、今、私たちが受けさせてもらっている、制度を粗末にせず、税金と、納税をしてくださっている人々に感謝の気持ちを持っていようと思いました。まだ、私たちが払える税金は、消費税の 10%しかありませんが、今、私たちが払った以上に受けている税金を、将来、私たちが社会に貢献できる歳になった時、こんどは私がたくさん返していきたいです。